

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	縄文文化を活かしたまちづくり
事業主体 (連絡先)	茅野市
事業区分	(8) その他地域の元気を産み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
総事業費	624,114 円 (うち支援金: 468,000 円)

事業内容

八ヶ岳をはじめとする雄大な自然文化により育まれてきた縄文文化を茅野市の「宝」として磨き育てる「縄文プロジェクト」を市民と行政が協働して推進しています。中でも、市内小中全学年で取り組む「縄文科学習」の明確な成果発表の場を設定し、児童・生徒の学習へのモチベーションアップを図るとともに、市民や来訪者への情報発信を行う。また、縄文ポロシャツを活用したクールビズの推進と「縄文のまち」のPRを行う。



【縄文科学習ロビー展】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「縄文科学習」の発表は駅前の市民館ロビーで展示発表を行ったことから、市民だけでなく観光客などの来訪者にも「縄文のまち茅野市」をPRすることができた。

女神のクールビズは参加企業も増えたことから、市内でも縄文ポロシャツを目にする機会も増え市内の機運の醸成ができただけでなく、Facebookでの情報拡散により市外へのPRもできた。

【目標・ねらい】

- ①小中学生の成果発表の場
- ②展示による情報発信
- ③ポロシャツ着用によるPR
- ④「女神のクールビズ」参加企業の増加

※自己評価 【B】

【理由】2つの取組で市内での縄文への露出が増え、多様な分野が「縄文」に関わり、関心を持たれたこと。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「縄文科学習」、「女神のクールビズ」の取組が、市内における縄文への関心を高める機会となったことから、今後も取組を継続、充実していきながら市外へのPRにつなげる取組に発展していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある